



薬物乱用防止教室から

薬物乱用防止講演会。学校薬剤師の先生をお招きし、1学年は「たばこの害」について、2学年は「飲酒依存」について、3学年は「危険な薬物」についての講演でした。そして、全学年で「薬の正しい使い方」等についてのお話を聴きました。



「薬の正しい使い方」については、辛い気持ちになった時などに手軽に手に入る市販薬を、嫌なことを忘れるために多量に飲むこと(オーバードーズ)は深刻な問題であること、薬は安全に効果を発揮するためには決められた量を守って服用すること、薬の飲みすぎは危険であることを教えていただきました。心が苦しい時は、迷わず相談することが大事であり、状態が悪化する前に手を打つことが必要であると教えていただきました。薬物に手を出さないためには、薬物について知ること「NO DRUG、KNOW DRUG」と教えていただきました。

【1年生の感想】

この講演を聞く前のタバコのイメージはただ、体に悪いという、どのように体に悪いのかを考えていないようなイメージでした。ですが、この講演を聞いて「ニコチン」という体力や記憶力を低下させてしまうものや「一酸化炭素」という血圧を上げてしまうもの、「タール」という発がん性のある、とても体に害のある、できれば、身の回りからなくなってほしいものというイメージへと変わりました。「オーバードーズ」というのは、何となくテレビで聞いたことがあったのですが、「市販薬などで簡単にできてしまうもの」というようなことを聞いて、とても怖いと思いました。「絶対に薬物乱用なんかしたくない」と思える素敵なお話をありがとうございました。

【2年生の感想】

未成年の時には大人や先輩にお酒をすすめられたとしても勇気を出してきっぱりと断れるようにしたいと思いました。また、大人になってからも急性アルコール中毒や依存症にならないように適度な量を楽しむようにしたいです。市販薬を接種しすぎるとオーバードーズになってしまうと知り、怖いと感じました。しっかりと決められた量を飲むようにしたいと思いました。

絶対に違法薬物に手を出さないようにしようと改めて思いました。また、悩んでいる友達がいたら話を聞いて寄り添ってあげたいと思いました。

【3年生の感想】

フラッシュバックみたいなのが一番怖いと思った。治ったと思っても、ふとした瞬間に薬を使っていた感覚を思い出してしまうというのが、一度使ってしまったら一生ついてくるみたいな感じで抜け出せないんだなと思った。自分からは薬に手を出すことはないだろうけれど、自分は意思が弱いから周りに誘われてしまったらどうなるんだろうと不安に思ってしまった。でも、ちゃんとダメなことはダメと線引きをして、そういう人とは関わらないようにしていきたい。また、オーバードーズとか簡単にできてしまうものにもちゃんと自制心を働かせてしないようにしたい。

全国学力・学習状況調査の結果について

全国の中学3年生を対象に実施された全校学力・学習状況調査の結果について分析がまとまりましたのでお知らせいたします。

1 全体的な傾向

| 教科 | 結果 |
|----|--|
| 国語 | 全体の平均正答率は全国平均と同じ数値となっています。領域・問題別では、「書くこと」は県内、全国平均を上回っています。一方で、「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均を大きく下回っています。特に「意味段落を捉え、段落に小見出しを付ける」という問題で全国平均と大きく差がついています。 |
| 数学 | 全体の平均正答率は全国平均より下回っています。領域・問題別では、「図形」においては全国平均とほぼ同程度ですが、「データの活用」について課題が見られます。 |
| 英語 | 全体の平均正答率は全国平均より下回っています。領域・問題別では、「記述式」は全国平均とほぼ同程度ですが、その他は全国平均を下回っています。 |

2 結果を踏まえた指導の改善について

〈国語〉

「書くことについて」は、今行っていることを継続していきます。「情報の取り扱いに関する事項」は、「小見出しをつける」という「自分で考えて書く」という行為と「意味段落を捉える」という二つの行為についての経験を充実させることが必要になってくると考えます。読んで理解するだけの受け身の活動ではなく、正解がいくつもあるような創造的な学習活動を行い、テストについても同様の方向の問いを設定していきます。

〈数学〉

どの学年でも「データの活用」を扱います。各学年の単元の導入で復習を行い、これから学習することと関連させながら授業を行っていきます。また、二つ以上のデータを比較し、根拠をもって説明することも必要になります。生徒たちの「知識・理解」の向上を図りながら、説明することへの抵抗感をなくすために、授業で説明問題を扱い、問題に慣れさせたり比較するときのポイントをおさえたりしながら指導にあたっていきます。

〈英語〉

基礎・基本の知識・技能の定着を図るため、授業や家庭学習で、ドリル学習や練習活動を継続的に行っていきます。また、対話活動や自己評価カードへの自己表現の記述を継続的に行い、表現する力の向上を図ります。

生徒とのかかわりを見直す ～非違行為防止研修～

職員研修の一つとして、毎月、非違行為防止研修を行っています。今月のテーマは「生徒とのかかわりについての教師としての在りよう」です。PTA 正副会長さんも来校し、研修の様子を参観していただきました。

PTA 正副会長さんより、「子どもとの信頼関係づくりが大切である」というお話をいただきました。生徒が安心できる、生徒が大切にされていると感じる関わり方を考えていきます。

【職員の感想】

- ・教師と生徒が当事者になる非違行為は、信頼関係が築けていないことが大きな原因ではないかと感じました。小手先のテクニックによる関わりではなく、人としてあたたかみのある関わり積み重ねが、非違行為の防止につながると思います。日々の自分の言動を省みたいと思います。
- ・子どもたち一人ひとりがかけがえのない大事な存在である。一人ひとりの良さを認め、かかわっていきたいと思います。



令和5年度 東信地区大会新人戦結果

【野球部】

立科中：●6-10

【サッカー部】

<予選リーグ>

東部中：○4-1 第五中：●1-4

<決勝トーナメント>

1回戦 佐久東・浅科中：○2-0

2回戦 浅間中：○1-0

準決勝 第二中：○1-0

決勝 第五中：●1-9 東信大会第2位：県大会出場

【男子バスケットボール部】

<リーグ戦>

野沢中：●22-84 第三中：○67-25

<決勝トーナメント戦>

小諸東中：●33-71

【女子バスケットボール部】

<決勝トーナメント戦>

佐久穂中：●47-60

【男子バレーボール部】

<リーグ戦>

中込中：○2-0 東部中：○2-0 立科中：○2-0

<決勝トーナメント>

芦原中：○2-0 さなだクラブ：●1-2 第四中：○2-0

東信大会第3位：県大会出場

【女子バレーボール部】

<リーグ戦>

野沢中：●0-2 第六中：●0-2 浅科中：●1-2

【男子ソフトテニス部】

1. 団体戦

<予選リーグ>

東部中：●1-2 塩田中：●1-2 丸子中：●0-3

2. 個人戦

ベスト16：2年1ペア

2回戦進出：2年2ペア、2年1ペア

【女子ソフトテニス部】

1. 団体戦

浅間中：●0-3

2. 個人戦

ベスト16：1年1ペア 県大会出場

【卓球部】

1. 団体戦

(男子) 小諸東中：○3-1 中込中：●2-3 第四中：●2-3
望月中：●2-3 東部中：●2-3 中込中：●2-3

(女子) 御代田中：●0-3 佐久穂中：●1-3

ベスト 8

2. 個人戦 (東信大会出場決定者のみ掲載)

(男子) 東信大会第2位：1名 県大会出場
ベスト16：1名 県大会出場
2回戦進出：1名

(女子) 2名：県大会出場

【剣道部】

1. 団体戦

(男子) 野沢中：●1-2 第三中：○3-2 東部中：●1-3
(女子) 真田中：●2-3 第四中：○2-1 小諸東中：●0-3

2. 個人戦

(男子) ベスト16：1名 県大会出場
ベスト32：1名

(女子) ベスト16：2名 県大会出場

【水泳部】

<50m自由形>

3年男子：2位・3位
3年女子：6位
2年男子：7位・15位・16位・18位・19位・22位

<100m平泳ぎ>

3年男子：1位・2位
3年女子：2位
2年男子：5位
1年男子：10位

<メドレーリレー>

3位

<フリーリレー>

2位

【陸上競技部】 <<東北信大会>>

- ・(男子) 共通棒高跳：3位
- ・(女子) 1年走り高跳び：2位
- ・(女子) 1年砲丸投げ：2位
- ・(女子) 1年800m：12位

